

日本基督教団 戸山教会主任牧師、青山学院大学名誉教授

西谷幸介 [著]

「日本教」の弱点

—— 無責任性と日本人

「神道信条」五カ条の英文・邦訳初公開！

幼児的依存を純粹に体现できる者こそ
日本社会で頂点に立つ。

最高権力者は言わば赤ん坊として全体を統治する。赤子たるものにどうして過重な責務を負わせたり、責任を問うたりできようか……。上から下までこの構造にまるごと収まっている「日本教」の弱さを正面から見すえ、私たちのとるべき生き方を指し示す慧眼の書。

主な目次

はじめに —— 『神道信条』五カ条

第一章 無責任性
—— 日本社会が抱える重大問題

第二章 〈記紀〉の国家論的解釈
—— 「日本システム」の真相

第三章 『日本書紀』の述作過程に関する
新しい歴史学的論証

第四章 「母子の情愛」の結実としての
「日本システム」

第五章 落語『百年目』 —— 日本教の美点

第六章 歌舞伎『三人吉三』
—— 親分に上納される子分の百両

第七章 戯曲『父帰る』
—— 親子関係の逆転

第八章 君と臣の責任と無責任

第九章 なぜ日本人は戦争責任を
追及しないのか？

おわりに
あとがき
書評再録

著者略歴：
西谷幸介（にしにん・こうすけ）

1950年、佐賀県生。1980年、東京神学大学院博士課程修了。
1986～88年、スイス・バーゼル大学神学部留学（97年、Dr. theol. 取得）。東北学院大学文学部教授、青山学院大学 専門職大学院国際マネジメント研究科教授、同大学院宗教主任を経て、現在、日本基督教団 戸山教会主任牧師、青山学院大学名誉教授。

著書：『ニーバーとロマドカの歴史神学 —— その社会倫理的意義』（ヨルダン社、1996）、*Niebuhr, Hromadka, Troeltsch, and Barth: The Significance of Theology of History for Christian Social Ethics* (New York: Peter Lang Publishing, 1999)、『十字架の七つの言葉』（初版：ヨルダン社、1999、改訂新版：ヨベル、2015）、『宗教間対話と原理主義の克服』（新教出版社、2004）、*Understanding Japanese-ness: A Fresh Look at Nipponjinron through "Maternal-filial Affection"* (Hamilton Books, 2017)、『教育的伝道 —— 日本のキリスト教学校の使命』（2018）『母子の情愛 —— 「日本教」の極点』（2020）、改題改訂増補新版『「日本教の極点」 —— 母子の情愛と日本人』（以上ヨベル、2023）他。

訳書：W・パネンベルク『現代キリスト教の霊性』（教文館、1987）、W・グロール『トレルチとバルト』（教文館、1991）、J・M・ロツホマン『駆けよってくださる神』（新教出版社、2000）、R・R・ニーバー『復活と歴史的理性』（新教出版社、2009）、A・リチャードソン『仕事と人間』（新教出版社、2012）他。

好評発売中



新書判・240頁・定価 1,430円
本体 1300円 + 税 ISBN978-4-909871-96-1 C0216



A5判・376頁・定価 3,960円
本体 3600円 + 税 ISBN978-4-907486-64-8 C0016



8月15日刊行予定



新書判・264頁・定価 1,650円 税込
本体 1500円 + 税 ISBN978-4-911054-25-3 C0216